



平成二十四年度を終えて

日も早い復旧を願つて います。

会報 第十六号

の力で新会員を勧誘していただければ
ればありがとうございます。

もし、友達で入会を希望される方、又は貴殿の誘いで入会してください。ださる方がおられましたら、この会報巻末にある事務局に電話をしてください。手続きは事務局でいたします。



望郷会報第十六号の

発刊にあたり

新十津川を一層ご愛顧賜りますよ
うお願い申し上げます。

豪雪により融雪が遅れ 水稲等の農作物の生育状況を心配しましたが、六月以降の好天と例年にならない気温の上昇により順調に作物が生育し、豊穣の秋を迎えることができました。今年は、昨年よりもさらに融雪が遅れ、五月上旬には雪が舞う異常低温気象でしたが、ことわざで「雪は豊年の端」（ゆきはほうねんのしるし）と申しますので、昨年と同様に豊穣の秋を迎えるよう期待するところです。

爽やかな初夏を迎える、秀峰ピンネシリの緑も鮮やかとなり、町全体が緑に覆われる素晴らしい季節となりました。

新十津川町長 植田満

爽やかな初夏を迎える、秀峰ピンネシリの緑も鮮やかとなり、町全体が緑に覆われる素晴らしい季節となりました。

望郷会員の皆様には、日頃から
郷土新十津川に深いご理解とご支
援を賜り、心から感謝とお礼を由

し上げます。



新十津川望郷会長

高樟政義

初夏の候、会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃、望郷会の運営にご協力をいただき、お礼申し上げます。

次のことおり、私の所感を述べさせていただきます。

うら！十津川郷」を合言葉に、老若男女が一丸となつて、復興に立

ち上がっている。被害状況から考えると、長期間の斗いになるだろう。粘り強い村民性を活かし、一

○会員の増員に協力を―

会の性格上、年々会員数が減少しております。新会員はいつでも申込を受付けております。現会員

し上げます。

さらには、中学校の授業での「武道必修化」に合わせて、昨年十二月に新十津川中学校武道場（愛称尚武館）を建設いたしました。建設にあたり、母村十津川村のヒノキ材を天井やホール化粧柱に、さらに本町のトドマツ材を腰壁羽目板に使用し、ぬくもりのある木の香りと両村町の深い絆と伝統を武道場に体現いたしました。望郷会の皆様にも、機会がございましては、紀伊半島の台風十二号豪雨災害から九月で二年を迎えようとしています。策定された復興計画に基づき、復旧工事も計画的に進捗しているようですが、観光産業は、災害発生の風評被害により、入込客は災害前と比較して七割程度の状況にあるようです。昨年、母村の観光産業を支援するため、町民八十一人が母村を訪問し、温泉などの観光施設を利用いたしましたが、今年は、望郷会においても、災害により中止となりました母村訪問ツアーを企画し、会員の皆さんに再度参加を募

るお伺いいたしましたので、大勢の方に復興に向けて努力されている母村の皆様を激励していただきたく、参加をお願い申し上げます。

終わりに会員の皆様のご健勝と新十津川望郷会のますますのご発展をお祈り申し上げご挨拶といたします。

しかしながら本年は、昨年以上に春先の気温が上がらず、作業に遅れが生じるなど、秋の収穫が果してどうなるのか、大変気を揉んでいるところでございます。

さて、新聞等で大きく取り上げられておりますように、人口の減少、少子高齢化は、本町におきましても着実に進んでおり、また一方では、地方分権の推進など時代の潮流が押し寄せるなど、大きな変革の時期を迎えております。

しかし、時代はどんなに変わろうとも、新十津川町の自然や文化、地域のすばらしさをしっかりと守り、本町の良さを更に高めていくことが必要あります。そのため、私たち議会としては、議会の役割を踏まえ、様々な町政課題の解決に向け、皆様の期待に応えるべく議会報告会や議員の報酬や定数に

るお伺いいたしましたので、大勢の方に復興に向けて努力されている母村の皆様を激励していただきたく、参加をお願い申し上げます。

終わりに会員の皆様のご健勝と新十津川望郷会のますますのご発展をお祈り申し上げご挨拶といたします。

しかしながら本年は、昨年以上に春先の気温が上がらず、作業に遅れが生じるなど、秋の収穫が果してどうなるのか、大変気を揉んでいるところでございます。

さて、新聞等で大きく取り上げられておりますように、人口の減少、少子高齢化は、本町におきましても着実に進んでおり、また一方では、地方分権の推進など時代の潮流が押し寄せるなど、大きな変革の時期を迎えております。

しかし、時代はどんなに変わろうとも、新十津川町の自然や文化、地域のすばらしさをしっかりと守り、本町の良さを更に高めていくことが必要あります。そのため、私たち議会としては、議会の役割を踏まえ、様々な町政課題の解決に向け、皆様の期待に応えるべく議会報告会や議員の報酬や定数に

た作柄も、その後は生育が順調に進み、二年連続となる豊かな実りの秋を迎えることができました。このことは、北海道有数の米産地である本町にとりまして、大きな喜びであり、また、農業関係者にとりまして大きな励みとなつたところでございます。

長谷川 秀樹

新十津川町議会議長



会報によせて

六月の風が北の大地を緑に染める爽やかな初夏を迎え、新十津川望郷会の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと存じますとともに、日ごろより新十津川町の発展にご支援とご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

去年を顧みますと、本町の基幹産業である水稻を中心とした農業では、春先の低温により心配され

るふるさとは
空にただよう
白い雲
目に遠く
心に近く
消えては 浮かぶ
白い雲

望郷の念を詠ったこの詩のよう
に、今後とも心に近い「ふるさと」
新十津川町でありますように、そ
してまた、我々町に住む者はもと
より、望郷会の会員の方々を始め、
新十津川町を故郷と思つてくださ
る多くの方々にとつても、いつでも、いつまでも、誇れる町でありたいと思い、議会としてもまちづくりに取り組んで行く所存でござ
います。

望郷会の皆様からは、これからも町の強力なサポーターとして更なるご指導、ご鞭撻をくださいま

た作柄も、その後は生育が順調に進み、二年連続となる豊かな実りの秋を迎えることができました。このことは、北海道有数の米産地である本町にとりまして、大きな喜びであり、また、農業関係者にとりまして大きな励みとなつたところでございます。

長瀬正夫氏の詩『望郷』が刻まれた詩碑があります。

開町記念式典が行われる菊水公園には、十津川村出身の詩人、野長瀬正夫氏の詩『望郷』が刻まれた詩碑があります。

た作柄も、その後は生育が順調に進み、二年連続となる豊かな実りの秋を迎えることができました。このことは、北海道有数の米産地である本町にとりまして、大きな喜びであり、また、農業関係者にとりまして大きな励みとなつたところでございます。

長瀬正夫氏の詩『望郷』が刻まれた詩碑があります。

すようお願い申し上げますとともに、新十津川望郷会が、会員一人ひとりの心を繋ぐ交流の場としてますます発展されますことと、会員の皆様の更なるご健勝、ご活躍を祈念いたしましてご挨拶といったします。

郷 感



丸 山 健

新十津川望郷会滝川支部長

石狩川を隔てるだけの隣どうしの地理関係であるのに、滝川から橋を越え、新十津川を通過すると、滝川とは異なった感覚（感触）がある。風？空気？臭い？雰囲気？、どれでもあり、どれでもない、何とも表現の仕様がない不思議な感覚である。この感覚は、滝川との対比だけでなく、近隣自治体すべてとの対比で感じることである。昔、東京や札幌に住んでいた時に、新十津川に帰省した際に感じ

た感覚、柔らかく包み込んでくれることもあれば、時に堅く、踏み込むことを拒むような閉鎖空間。しかしこれは一方で故郷が優しく出迎えてくれたが、他方で都会の悪いもの（喧噪とか汚れとか）を持ち込むなという意思の現れであると考えれば分かりやすい。しかし、滝川に住むようになつて感じる最近の新十津川の感覚は、これは違ひ、微妙な、繊細な感覚なのである。

「郷感」ととりあえず勝手に呼んでいる。「郷風」だと俗で何だか演歌っぽいし、「郷臭」だと昔悪戦苦闘した堆肥を思い出すし（ただ、最近ではむしろ懐かしい）、「故郷の雰囲気」だとそのままで面白みが全くない。そこで、とりあえず「郷感」と呼ぶことにした。

昨年（平成二十四年）七月、「新十津川望郷会滝川支部」を設立しました。会員は多士済々ですが、新十津川を愛する気持ちは熱く、望郷会のどの支部の皆様にも負けません。ぜひ仲間に入れていただき、親しくお付き合いをいただき、ますようよろしくお願ひいたします。

郷感の構成要素は何か。強いて

言えば、土（田畠）と木々、そして山河であろうか。冠雪したピンネシリは美しい。個人的には富士山に匹敵する（それ以上かもしれない）美だと思っている。そして、徳富川は昔も今も清流をたたえている。その水と田畠で育つた米、野菜が美味しいのは言うまでもない。

私が生まれ育った大和地区は、住宅も少くなり、小学校も閉校し、寂しくなったが、上徳富小学校校歌2番「小鳥さえずる夫婦山、みのりも豊かなわが里」のとおり周囲の自然は健在である。幸い、私は出生地のすぐ近くの墓地に家の墓もあり、生を終えたらこの墓に入り、この世とあの世がある限り郷感を感じていたいと思つていいのである。何と幸せなことか！！

《名刺を作りませんか！》

望郷会のPR事業の一環として、会員の勧誘や日頃のお仕事で新十津川町をPRしていただくため、町の風景や建物を入れたオリジナル台紙を活用し、望郷会会員の希望者の方に名刺をお作りします。

名刺は、1種類100枚単位とし、会の予算で作成しますので、ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

なお、予算に限りがありますので、ご希望に沿えない場合はご了承願います。

申込先 新十津川町役場 総務課総務グループ 新十津川望郷会事務局まで
電話 0125-76-2131 FAX 0125-76-2785

新十津川望郷会開町120年記念協賛事業

(平成24年度小・中学校図書室整備助成事業報告)

(収入) 寄付金 個人 82名 217,860円
 会予算 44,000円
 計 261,860円

(支出) 単位：円

区分	品名	規 格	数量	単価	金額	支払日	支 払 先
中学校	本	「総合百科事典ポプラディア 1～11 新訂版 あ～ん」	11冊	8,167	89,837	6月26日	(株)図書館流通センター
		「総合百科事典ポプラディア 12 新訂版 索引」	1冊	8,163	8,163		
	値引き				-2,940		
	小計				95,060		
	消費税				4,753		
	計				99,813		
	合計				99,813		
小学校	本	学校のまわりできがせる植物図鑑 春・夏・秋冬・樹木	4冊	2,500	10,000	7月27日	(株)図書館流通センター
		NHK大科学実験 1～5	5冊	2,300	11,500		
		オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器図鑑 1～5	5冊	3,000	15,000		
		光村ライブラリー 1～18	18冊	1,000	18,000		
		チャレンジミック！ 1～8ほか	67冊		104,160		
	値引き				-4,760		
	小計				153,900		
	消費税				7,695		
	計				161,595		
	合計				161,595		
	総 計				261,408		

新十津川望郷会開町120年記念協賛事業

(平成25年度小・中学校図書室整備助成事業計画)

(収入) 寄付金 100,000円
 会予算 100,000円
 合 計 200,000円

(支出)

区分	品名	単位	金額
中学校	総合百科事典	10冊	45,000円
小学校	調べ学習用図書	90冊	155,000円

新十津川町トピックス

~まちの出来事~

平成24年7月8日 十津川村青年団 ピンネシリ登山マラソン完走

十津川村青年団5名の方が、災害の復興でお世話になったお礼を込めて山頂コースに挑みました。想像以上に大変だったようですが、全員が完走を果たし、「達成感がありました。また挑戦してみたい。」と話していました。



平成24年7月14日 新十津川望郷会滝川支部設立

滝川市の松尾ジンギスカンで、滝川支部設立総会が開催されました。出席者は39名。支部長には、丸山健氏が就任いたしました。ふるさとの仲間と懇談し、楽しいひと時を過ごしました。



平成24年10月 金滴酒造に十津川村から杉玉寄贈

十津川村青年団から直径40センチの杉玉（酒林）が金滴酒造に届きました。杉の穂先を集めて球状にした造形品で、酒屋の軒先に吊るすことで、新酒ができることを知らせる役割をもつものです。北海道では貴重なもので、杉の香りがよく金滴酒造の社員の皆様も感激していました。



平成24年11月 十津川村と新十津川町の 食材を使った「親子の絆給食」

十津川村の特産品と町内の食材を使用した給食が新十津川小・中学校に提供されました。「親子の絆給食」と名づけられ、きのこご飯と素麺のすまし汁ほか2品でした。十津川村から直送されたシメジや手延べ素麺のほか、新十津川町のお米、ニンジン、玉ねぎが使われました。子どもたちは、美味しいと笑顔で食べました。



平成24年12月20日 新十津川中学校武道場完成

新十津川中学校武道場（尚武館）は、鉄骨平屋建て 延べ面積760平方メートルの建物で、剣道場を2面とすることができます。母村十津川村のヒノキ材を天井とホール化粧柱に、新十津川町のトドマツ材を武道場内の腰壁羽目板に使用し、母村との深い絆を大きな形にしました。



○平成25年2月10日 新十津川中学校武道場落成記念式典・記念試合

記念式典には、十津川村から更谷村長、中南村議会議長、十津川剣道クラブ会長など、町内外の剣道関係者120名のご臨席をいただきました。テープカットから始まり、厳粛な中で式典が挙行され、その後、小中学生の紅白試合、十津川剣道クラブと新十津川尚武会による記念試合が行われ、真新しい道場に気迫のこもった声が響きました。



ヒノキ材の机と椅子80組寄贈

武道場の完成記念品として、十津川村からヒノキ材で作られた机と椅子80組が新十津川中学校に贈られ、武道場落成記念式典で、植田町長から更谷村長に感謝状が贈呈されました。代々受け継いで中学3年生が使い、義務教育の最後の年を締めくくります。



新十津川町出身者による母村（奈良県十津川村） 訪問ツアーツアー

新十津川望郷会では、平成23年に紀伊半島の豪雨災害で中止になりました新十津川町出身者による母村（奈良県十津川村）訪問ツアーツアーを再度、次の日程で計画いたしました。

復興に向けて頑張っている母村の皆様を応援に行きたいと思いますので、参加ご希望の方は、事務局まで申込み願います。

日 時 平成25年10月23日(水)から10月26日(土)3泊4日

10月23日(水)	7時50分	新千歳空港集合
	8時15分	新千歳空港出発
	10時25分	関西空港到着
	10時40分	貸切バスで十津川村に向かう
	13時30分	十津川村 風庵にて昼食
	14時20分	谷瀬のつり橋・民俗資料館見学
	16時20分	湯泉地温泉「十津川荘」(0746-62-0035) 到着
10月24日(木)	9時00分	出発・十津川村役場表敬訪問
	10時30分	玉置神社（参拝） 神代杉・夫婦杉の見学・昼食
	13時10分	21世紀の森 水害記念碑等（献花）
	14時20分	道の駅（十津川郷）で買い物・庵の湯で足湯体験
	16時50分	湯泉地温泉「十津川荘」(0746-62-0035) 到着
10月25日(金)	8時00分	出発・熊野本宮大社（参拝）・橋杭岩・昼食
	14時30分	三段壁洞窟・海中展望塔
	16時00分	南紀白浜温泉宿「柳屋」(0739-42-3360) 到着
10月26日(土)	9時00分	出発・千畳敷
	12時00分	和歌山城跡・昼食
	15時30分	関西空港出発
	18時45分	新千歳空港到着

概算費用 参加人員により異なります。

- ・人員 15名の場合 104,000円
- ・人員 20名の場合 97,000円

申込期限 7月31日(水)



- ※1 上記日程で実施いたしますが、詳細のタイムスケジュールは、変更する場合があります。また、費用等の詳細については、申込期限後、参加者にお知らせします。
- ※2 参加人員が定員（15名）に達しない場合は、ツアーを中止いたします。

申込先 **〒073-1103 檜戸郡新十津川町字中央301番地1**
新十津川町役場 総務課総務グループ 新十津川望郷会事務局まで
電話 0125-76-2131 FAX 0125-76-2785

会員の皆様へ（お願い）

新規望郷会員のご入会を募るため、小・中学校などの同窓会が開催されるときは、事務局まで、ご連絡をお願い申し上げます。

望郷会新規会員募集のチラシを送付させていただきますので、新規会員のご入会にご協力をお願いいたします。

新十津川望郷会役員

任期期間 平成25年5月17日～平成26年6月19日

(敬称略)

役職名	氏名	住所	電話番号	備考
顧問	植田満			町長
	長谷川秀樹			町議会議長
会長	高棹政義			
副会長	谷口次雄			
	中川昭五			
	増谷俊秀			
	川合正修			
理事	田中幹人			
	和平康伸			郷友会中央会会长・札幌郷友会副会長
	杉村修			深川支部支部長
	玉堀光夫			郷友会中央会副会长
	中井唯夫			
	玉置豊			
	西井勝明			札幌郷友会監査役
	中川芳継			
	松倉幹男			
監査	岡田功			札幌花月会会长・札幌郷友会副会长
	村上新一			
事務局長	佐川純			徳富会会长
事務局次長	熊田義信			札幌郷友会事務局長
	藤澤敦司			砂川支部支部長

印刷	新十津川望郷会	発行	新十津川望郷会	新十津川望郷会
☎〇一二五—七六—二二三一	〒〇七三一一〇三	平成二十五年六月二十日発行	第十六号	第十六号
佐川	新十津川町字中央三〇一番地一			
広小路印刷株式会社	新十津川町役場内			
	事務局長（新十津川町副町長）			
	純			

新十津川望郷会会報第十六号を発刊するにあたり、役員並びに会員の皆様にはご投稿賜り、心からお礼申し上げます。来年の十七号の発行に際しましても多くのご投稿をお待ちしております。
 (投稿される方には、原稿用紙を送付させていただきますので、事務局までお電話等でご連絡くださいますようお願い申し上げます。)

編集後記